

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光灯ランプの交換の際は、必ず電源を切る。

■器具のお手入れ



必ず守る

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
* 石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



禁止

* 割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



必ず守る

*電源を切らないと感電の原因となります。

■蛍光灯ランプの交換時期について

●蛍光灯ランプは口金付近が黒ずみますと寿命ですの、新しい蛍光灯ランプとお取り替えください。

黒ずみますと寿命です。



必ず守る

器具に合った蛍光灯ランプをお求めください。

■蛍光灯ランプ取り扱い上のご注意

●点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



接触禁止



*やけどの原因となります。

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ
	32W形	交流100V	50Hz・60Hz 共用	31W	FHF32EX

アフターサービス

●もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日



日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

保存用

ICインバーター
キッチンライト

日立蛍光灯器具

FC3662E(傾斜天井対応)
直管32W形・1灯

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意



警告

●このような場所には取り付けない。
(この器具は天井面取り付けおよび、傾斜天井面取り付け専用型です。)



禁止

押すと簡単に
にたわむ

補強のない場所

*器具の落下によるけがの原因となります。

●器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。

* 火災・感電・故障の原因となります。

●器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。

* しょうと工事は危険です。

●アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。

* アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

●器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。

* 感電・故障の原因となります。

●器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。

* 過熱し、火災の原因となります。



注意

●定格電圧交流100V以外で使用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。

●浴室など湿気の高い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。
* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

●調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。

●お手入れの際や、蛍光灯ランプの交換は、必ず電源を切る。

* 電源を切らないと感電の原因となります。

●屋外で使用しない。

(この器具は屋内専用です。)

* 火災・感電の原因となります。

●点灯中および消灯直後は蛍光灯ランプが熱くなっているので触らない。

* やけどの原因となります。

●器具の真下にストーブなどを置かない。
* 過熱し、火災の原因となります。

●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。

* 器具の落下によるけがの原因となります。

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。

器具を取り付ける前に

■取り付け工事をされる方へ…取り付け工事が終わりましたら、この説明書はお客様にお渡しください。



必ず守る

- 器具は強度的に十分な場所(補強材のある場所など)に取り付ける。
- *強度的に不十分な場所(板厚の薄い場所や、テックスなど)は器具の落下によるけがの原因となりますのでおやめください。

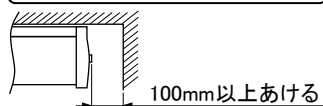


- 器具の取り付けには、右図のようにスペースがあることを確認してください。スペースがないと、カバーの着脱やランプ交換ができませんのでご注意ください。

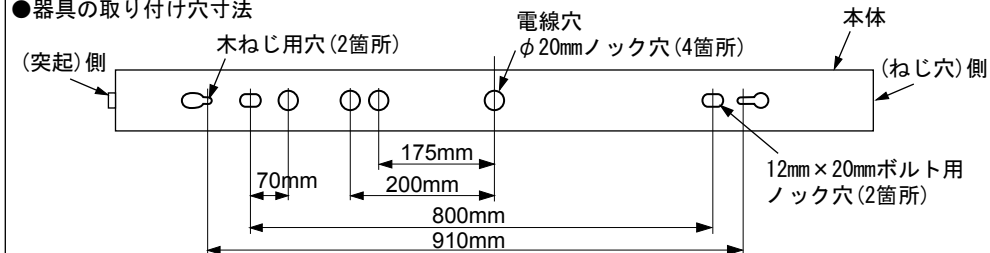


禁止

- プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。
- *器具の落下によるけがの原因となります。



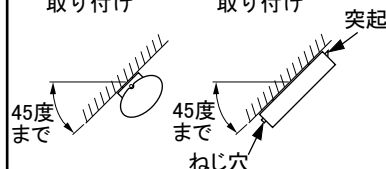
●器具の取り付け穴寸法



■傾斜天井に取付ける場合は、下図のように取り付けてください。

●横向き取り付け

●縦向き取り付け



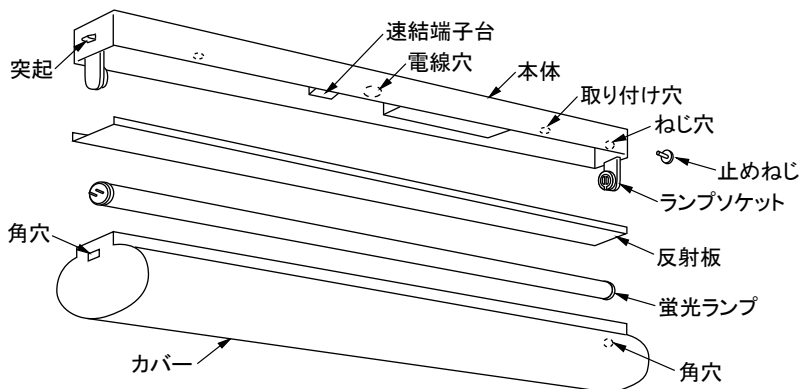
必ず守る

- 45度以上の傾斜天井には取り付けない。
- *45度以上の場合、器具の落下によるけがの原因となります。
- 縦向き取り付けの場合は突起が上部になるように取付ける。
- *突起を上部にしないと、器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して各部品をお確かめください。



付属品



器具の取り付けかた 必ず電源を切ってから作業をしてください。

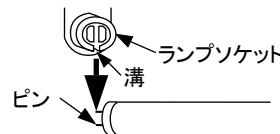
(1)本体から蛍光ランプと反射板を取りはずしてください。

蛍光ランプの取りはずしかた

①蛍光ランプを90度回してください。

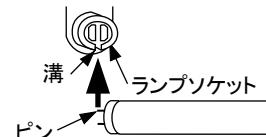


②蛍光ランプの両端のピンを、ランプソケットの溝からはずしてください。



蛍光ランプの取り付けかた

①蛍光ランプの両端のピンをランプソケットの溝にそって差し込んでください。



②蛍光ランプを90度回してください。手ごたえがして止まります。

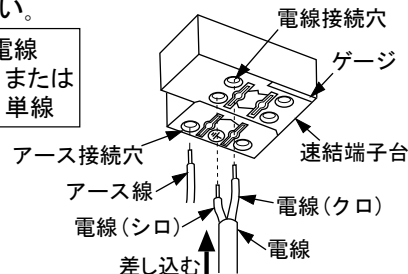


(2)本体の電線穴に電線を通した後、取り付け穴を使用して付属の木ねじで本体を取り付けてください。

*あらかじめ使用する電源穴に付属の電源穴用ブッシュを取り付けてください。

(3)電線を速結端子台のゲージに合わせて段むした後、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

適用電線
φ 1.6 または
φ 2.0 単線



必ず守る

- 確実に電線を接続する。
- *接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災・感電の原因となります。
- 電線の接続作業時は、必ず電源を切る。
- *電源を切らないと感電の原因となります。



- 必ずアース線を接続する。

アース線を接続せよ

- *接続しないと感電の原因となります。

*電線を解除する場合は、電線解除ボタンにマイナスドライバーなどを差し込み、押しながら電線を引き抜いてください。

(4)アース線を取り付けてください。

(5)反射板を本体に取り付けた後、蛍光ランプをランプソケットに取り付けてください。

(6)本体の突起にカバーの角穴を引っ掛けた後、カバーの穴と本体のねじ穴を合わせて止めねじで確実に取り付けてください。



必ず守る

- 取り付け後、カバーを軽くひっぱり確実に付いているか確認する。

*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。